

グローバルユース大使 海外研修報告



活動報告をした高橋さん(右から2人目)

日本青年会議所のグローバルユース国連大使に本県で唯一選ばれた高橋美月さん(青森明の星高校1年)が、12月11日、副市長を訪問し、海外研修の報告をしました。

同大使は、国際社会が抱える様々な問題を学び、その解決方法に対する知識を養うことを目的に日本青年会議所が実施している事業で、高橋さんは、8月にイギリスに渡った際、アフガニスタンの貧困や教育に関することを勉強し、また10月にカンボジアに渡った際は、子ども達が観光客に物乞する姿を目の当たりにして途上国の様々な問題に直接触れ、衝撃を受けたと話しました。今月からフィジーに3カ月間留学する高橋さんは「文具を集めてフィジーに送り、少しでも教育環境の向上につながるような活動をしていきたい」と話しました。

まっちこん5 in cafe 夜汽車BAR



商工会議所青年部の皆さん

12月16日に開催された「まっちこん5 in cafe 夜汽車BAR」をPRするため、五所川原商工会議所青年部の皆さんが、12月12日に副市長を訪問しました。

今回で5回目となるまっちこんは、津軽鉄道五所川原駅の4番線ホームにおいて冬の風物詩「ストーブ列車」を貸し切り、キャンドルが灯る列車内で飲み物や食事を楽しみ素敵なパートナーを探すイベントです。

青年部会長の中山佳さんは「今回のイベントは、よりパートナーを真剣に探していただきたいと思い、募集人数および年齢制限を絞りました。また、若い人達にもっとストーブ列車に触れてもらいたいとの思いから、このイベントを考えました。多くの方に参加していただきたいと思います」と話しました。

五所川原市少年少女発明クラブ全国大会出場



全国大会に出場した木村さん(左から3人目)と片岡さん(左から2人目)

11月25日、東京で開催された第8回全国少年少女チャレンジ創造コンテストに出場した五所川原市少年少女発明クラブの木村昂さん(五四中2年)と片岡くるみさん(五二中2年)が12月12日、副市長を訪問しました。

全国から60チームが出場した大会において、木村さん、片岡さんのチームは、五所川原の四季をテーマに多彩な仕掛けを駆使した山車で、上位20チームの決勝に進出しました。木村さんは「山車の制作は7カ月かかりました。大会では、仕掛けの一部が動かなくなり、やりたい事ができなかったのが、来年もまた新たな山車で全国大会に出場し上位入賞をめざして頑張ります」と話しました。また、片岡さんは「今回の山車は完成度が高かったため、決勝に行けてうれしかったです」と話しました。

東奥児童美術展入賞



受賞を報告した(前列左から)長内さん、松橋さん、島村さん、蒔苗さん

12月12日、第85回東奥児童美術展(東奥日報社など主催)で入賞された園児の皆さんが副市長、市議会議長を訪問しました。

当市の入賞者は、図画の部「推奨」を受賞した島村虎詩さん(こども園第二さつき)、同じく「特選」を受賞した長内千拓さん(五所川原こども園)、蒔苗駿人さん(こども園第二さつき)、版画の部においては、「推奨」を受賞した松橋和奏さん(こども園ひろた)、「特選」を受賞した白川文太さん(こども園かなぎ)の5名が入賞しました。賞状伝達を受けた園児の皆さんは「楽しかった」「うまく描けた」と笑顔で話しました。